



## 川の水の始まりは、どうなっているの

### 山のわき水などが始まり

どんなに大きな川も、1てきの水から始まっています。川の始まりは、山の高い所からわき出ている水などが、源になっていることが多いのです。

山に雨が降ると、降った雨水の一部は蒸発し、一部は地下にしみこみ、残りは地面を流れていきます。

地下にしみこんだ水は、地中を湿らせたり、植物の根に水をあたえたりしますが、ほとんどは、地層の中にしみこんでいき、水を通しにくい地層(ねん土など)の上にたまります。

これを、地下水といいます。

地下水の一部は、地層が切れているがけや谷などから、わき水となって出てきます。このわき水が、川の源になります。

また、川の源をたどっていくと、湖やぬま、池の水などが、川の始まりになっている所もあります。

### 川が流れるにつれて、水の量が多くなる

川の上流は川はばがせまく、水の量は少ないのですが、中流、下流へと流れていくにつれて、たくさんの支流の水が、川に流れこんだりして、川はばが広くなり、水の量が多くなっていきます。(監修・国司 真)

